



# かがやき



学校教育目標： 確かな学力と豊かな人間性を持ち、自ら伸びる子どもの育成

— 自ら学ぶ 認め合う 元気 —



《No. 4》 令和7年7月1日

## 全校で取り組んだ 神杉大田植

6月8日（日）に、第20回を迎えた「神杉大田植」。今年度は、全校登校日として位置付け、全校児童が神杉大田植を学びの場として取組を行いました。1・2年生は大田植の見学、3・5年生は体験大田植、6年生はサゲ衆、唄として第一部の早乙女田植から参加し、4年生は代みて行事の中で銭太鼓3曲を大勢の観客の前で披露しました。

当日までに、3・5年生は「なぜこの行事を行うようになったのか」「60年前の田植えとは」など、神杉大田植についての話を地域の方に教えてもらい、囃子に合わせて苗を植える練習を行いました。実際に田んぼの土に植える感覚をつかませたいと、発泡スチロールの箱に田んぼの泥を入れ、苗を植える体験もさせていただきました。（おかげさまで今まで一番良かったそうです。）

また、6年生はサゲ衆、唄の役に分かれ、神杉コミュニティーセンターで2回指導していただき、リズムや節回しを学びました。地域・保護者の皆様方のご理解とご協力により、児童は各学年の役割の中で、大きな学びを得ることができました。本当に、ありがとうございました。



今後も、様々な場面で、地域の皆様とともに学びを創っていきます。よろしくお願いいたします。

## プールでの学習(6月17日～)



異例の早さで梅雨が明け、いよいよ今年も夏がやってきました。夏季限定のプールでの学習が6月中旬からスタートしています。事前に5・6年生がプール掃除に取り組み、きれいな水で気持ちよく水泳の学習が実施できています。

プールの期間は大変短く、高温のため時間も限られてきます。忘れ物をしたり体調を崩したりして、プールでの学習ができないのはとても残念です。体調を整えること、忘れ物をしないように気を付けることを徹底し、目標に向かってしっかりと泳力を高めてほしいと願います。

## 平和の虹プロジェクト

今年は広島・長崎に原子爆弾が投下され、日本が終戦を迎えた1945年から80年目の年となります。この節目の年、広島で育っている神杉小の子どもたちが「平和」について考え、行動しようと、「平和の虹プロジェクト」の学習を全校で進めています。

1・2・3年生は、2冊の絵本から80年前の8月6日に広島で起こったことや世界中から広島へ届けられる折り鶴のもとになった佐々木禎子さんのことを知り、もっと知りたいことや私たちにできることを考えていきました。

4・5・6年生は2つのグループに分かれ、神杉地域にお住いのお二人の方にお話を聞かせていただきました。戦争中の暮らしのお話を詳しく聞くことができました。お二人とも90歳を超えるご高齢ですが、大変元気なお姿で、自分の経験とともに平和への願いを子どもたちに語ってくださいました。

5月23日(金)には、全校児童が体育館に集まり、80年前の8月6日、広島駅周辺で被爆をされた福永 八重子さん(吉舎町在住)にお話を聞くことができました。広島駅前の電車の影で被爆をした福永さん。あの日、あの瞬間の広島の街の様子をこうして生で聞ける機会は、これから少なくなってきました。大変貴重なお話をお聞きすることができ、子どもたちにも、「原爆は怖い」だけでなく、戦争は絶対に起こしてはならないもの、平和な世の中をつくるために自分たちができることを考えるもとをたくさんいただきました。



廣川 テル子さん



中井 治人さん



福永 八重子さん

その後は、各グループに分かれ、聞かせていただいた話から分かったこと、今との違いや自分だったらどうか等、いろいろな事柄についてまとめていき、6月27日には発表交流会を行いました。2・3年生からは、鶴を折ることの意味を調べ、「全校で千羽鶴を折る行動をしよう!」という訴えがありました。4・5・6年生は、各グループの学びを交流し合いました。自分たちの生活に置き換えて、「平和は、人を傷つけないこと」「平和はみんなで創っていくもの」と、自分の言葉でまとめ、堂々と表現することができていました。

8月6日(水)、神杉地区戦没者慰霊式典の前に行われる平和学習では、この学習での学びを6年生が代表で発表する予定です。

